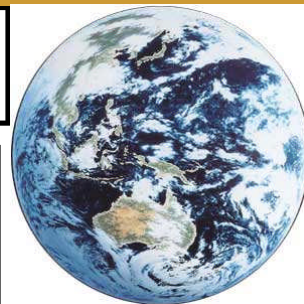


創刊号

平成19年8月29日

アース21会報

会報紙発行にあたって



アース21

事務局：北海道札幌市
中央区北5条西17丁目
4-4 BL*COME2F

電話：011-641-2040
FAX: 011-616-5532
電子メール：
a-u21@topaz.plala.or.jp

会報編集委員会
委員長：橋本
委員：
升元、菊澤、高橋（洋）

発刊責任者：
委員長 橋本政仁

***会報に載せたい事柄や提案
がございましたら、事務局ま
で一報下さい。**



上：平成6年の
設立総会



左：14回総会で
挨拶する橋本会長



アース21の会が設立されて足かけ14年になるわけですが、初めての会の雑誌が発刊されようとしている時期に、くしくも会として、ようやく会報をみなさんの手元に届ける事が実現しました。心から会の皆さんと共に祝福したく思います。今や正会員、準会員、賛助会員、アドバイザーを含む総勢43社の会になりました。発足のころからみて7人と少々でしたから6倍ということです。現在アース21の会は北海道の住宅業界のなかで重要な位置にあることを宣言してよいと思います。そして私達の活動や会の考え方を多くの人達に理解していただき地域や土地の方達と行動を共にしながら発展させていく所存です。発刊の主旨は、会の例会や様々な行事で切磋琢磨していきながら会全体のパワーアップを心がけていっておりますが、そのチェック・点検の意味と決め事を忘れないためのものでもあります。会がどう動いているのかを会員一人一人のものにしていくことにあります。年に3回は発行していく予定ですので、ぜひ会全員の参加をお願いいたします。
橋本会長

平成19年4月に行われた第14回総会

初代事務局長から 升元副会長

アース21は、この14年間地場の工務店だからこそ出来る家づくりを目指して会員同士厳しく意見を交換し、情報を共有し地域に根ざした家づくりを進めてまいりました。そしてやっと最近ユーザーの方にも認知されるようになってきた今日この頃です。

しかし我々の目指すものはまだまだ高い所にあります。環境問題一つとってもたくさん取り組むことがあり「セーブエネルギー住宅・アース21」を確立するのもそうです。

一方、HPの充実、メーリングリストの活用、さらには今回は独自の雑誌発行と行ってきましたが、今後NPO法人化、ネットワーク作り、住まい手の思いを実現する設計・デザイン力、それを高品質な住宅性能で実現する技術力のUP。まだまだやるべき事はたくさんあります。このアース21会報の発刊を祝すると同時に皆で力を合わせて本物の住宅を創造していきましょう！

19年第2回例会：ニセコ例会ダイジェスト（事務局：高橋洋之）

札幌地区が幹事となったニセコ例会は、参加者27名で開催されました。南千歳からのバス移動から早速例会スタート。トップバッターは菊澤さんの注文がやたら細かいお客さんの対処の苦労話、魚住さんとSTV興発の高橋正実さんからは、リブランを見たと言って呼び出して食事をたかる詐欺の話、青木さんの苦労話（愚痴？笑）、庭田さんのなかなか客が決めてくれなくて困っている話、YOSHIKEN吉田さんの森林の話など、ここでは書ききれないほどたくさんのお話が出ました。

ひらふに着いて早速、建築ブームの視察が始まりましたが、最初に大規模木造の大型コンドミニアムを視察しているなかで、皆さん太～い梁に目を奪われ？

右の写真は梁に目を奪われる（？）魚住さん、高橋正実さん



続いては隣のRC棟へ移動、北海道トラックス大久保様より販売状況などを聞きましたら、オーストラリア人だけではなく、マレーシア人などの富裕層にもセールスしている戦略との事でした。世界的に見てカナダなどに比べると、まだニセコ地区は割安感があるようですが、（別世界の話だ！）視察は戸建てを2棟見て締めくくりました。

ホテルに戻って北海道トラックス社長様、幹部による事業概要の説明会がありました。デベロッパーの戦略から仕事のヒントを得た方もいるのではないのでしょうか。

終始英語での説明でしたが誠実そうな人柄と感じたのは私だけでしょか？

左写真上から戸建ての視察風景、プロジェクターを使っの北海道トラックス社長様の事業内容説明

講演 「シックハウス問題の深刻な話し」

2日目は、皆さんにはお馴染みである伊藤氏のシックハウスに関する最新情報が事例を交えながら講演されました。体力が衰えることで掃除が行き届かなくなってカビとゴミに囲まれて生活するようになり体調を崩した高齢者の事例など建材以外の観点からのお話もありました。10年以上同じ場所に置いてあった裏側がカビだらけのタンスの写真はインパクトがありました・・・この後、行われたグループ討論でもこの話題になったグループがあって大変有意義な講演であったと思います。

PS:伊藤さんは御自分の事業が、アース21で販売されているEM抗酸化溶液の生産メーカー、さらに汚染物質の測定業務等、シックハウス諸問題で広い活動をされています。元々が家具屋さんだったこともあり、現在、リフォームや内装工事もされており、アース21の活動にいたく感動され賛助会員として入会の意思を、つい最近表明していただきました。会としては喜んで迎えたいと思います。（事務局情報より）



講師 伊藤文康氏
環境省 環境カウンセラー

新入会員のご紹介

正会員



大山建設(株) 大山守
〒074-0005 深川市5条1 2番2 8号
電話：0164-23-2988 FAX：0164-23-3174
E-mail:oyama-bm1@image.ocn.ne.jp

吉田建設社吉田社長とプラスター高野の高野社長に勧められて入会しました。アース21は全員がお互いに切磋琢磨して技術を高めるので、とても勉強になるよと聞いて総合的に考えて入会しました。先日のニセコ例会に初めて参加しましたが周りの話を聞くだけでも、とても参考になりましたし同業者同士が情報交換するのが凄いいと思いました。少しでも吸収したいし会の活動を通じて自分でも何か提供したいと思っています。

賛助会員

(株)アルデエンジニアリング

代表取締役 吉村孝之

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町2-8プロス大伝馬

TEL 03 - 5623 - 9331 FAX 03 - 5623 - 9334

E-mail info@arude.co.jp

営業品目 アルデ換気システムの製造・販売・輸入

高气密住宅部品の製造・販売 木製窓用金物の輸入・販売

アース21のメンバーには20年くらい前から知っている人もいますが北海道とは最近すっかりご無沙汰していました。橋本会長から現在アース21には換気のアドバイスをする人がいないのでサポートをお願いしたいと要請がありました。組織には属さないのがモットーでしたが橋本会長の強い勧めがあり、道内の人たちと再スタートしたいと思いました。アース21のメンバーは良い住宅を建てたいという想いを原点に持っていると思いますので、自分達の住宅のスタイルを貫いて欲しいですし、そのサポートを出来たら良いなと思っています。



平岡克康

旭・デュボン フラッシュスパン プロダクツ
株式会社

フラッシュ紡糸不織布製品デュポンTM タイベックRの
販売、加工、用途開発、技術サービス

【本社】〒100-6111東京都千代田区永田町2丁目
11番1号 山王パークタワー

電話：03-5521-2600 FAX：03-5521-2601

ビルダーとしての意見をよくもらっていた岡本建設の岡本専務に最初に声をかけていただきました。昨年末(18年)の十勝の例会にオブザーブ参加させていただいたのがきっかけとなり入会に至りました。私は技術サポートの人間として全国を歩いていますがアース21は全国の中でもレベルが高いと感じています。気象条件が厳しい地域で研鑽されている皆さんからは学ぶ事が多く、一緒に向上したいと思っていますので宜しくお願いいたします。

アース21 役員

- 会長
橋本政仁
(有)住まいの相談室はしもと
- 副会長
岡本修 (株)岡本建設
- 副会長・組織委員長(兼任)
升元健
(株)ノーザンプランニング
- 企画委員長
高橋雅明
(株)ハウジングシステム
- 広報委員長
菊澤里志 (株)キクザワ
- 会計長
吉田純治 吉田建産(株)
- 事務局
高橋洋之
(tkマネジメント&アソシエイト)

例会スケジュールについて

- 10月例会 10月23日(火)、24日(水) 札幌
テーマ:セーブエナジー
- 11月研修旅行 予定
- 12月例会 12月6日(木)、7日(金) 函館
テーマ:建築探訪、地元ビルダーの仕掛け
- 2月例会 2月13日(水)、14日(木) 十勝
- 第15回 定期総会 4月

例会は会活動の基本ですから、皆さん必ずスケジュールを調整して参加するようにして下さい。止むを得ず参加できない場合は事前に必ず連絡をして下さい。

森林部会からのお便り

部会長 吉田純治



厚田村の山林

去る8月23日に札幌の有志で集まりを持ちました。そこで厚田村の山林購入の件が話し合われ、4.5ヘクタールの購入と、共同事業としての約束事が決定しました。代表は橋本会長に決定しました。9月上旬には購入が実現しますが、今のところこの事業に参加の意思を表明しているメンバーは、橋本、キクザワ、武部、吉田(ヨシケン)トレーダー(瀧本)、伊藤、北島、升元、吉村(アルデエンジニアリング)野島(住宅通信社)。*敬称は省略この札幌の活動の代表が橋本で事務局長が野島です。これまで道の水産林務部を通じて旭川木青会等の話し合いを進めてきましたが野島さんの奮闘で、道より活動資金として30万円位補助されそうです。

現状の景況分析

日本経済の全体から行くと“ミニ不況”。8月益明けの世界的な株の暴落、円高基調と今後の見通しは甘くない。特徴的なことは、関東と他地域の地域間格差の増大が挙げられる。

「売上・客単価の減少」「人件費の上昇」「原材料、商品仕入額の増加」の割合が増えている。

小規模な企業体であればあるほど、金利上昇の広がり等と共に資金繰り悪化の方向へと向かっている。道内の住宅の受注は、06年から07年の予想では10%前後の悪化と見込まれている。現在、(1月~6月)まで持家着工戸数は都市部では、07年1月~6月で前年同期を上回ったのは、江別・小樽・北見の3市のみでした。札幌は2.8%減で、その他の5市は8%~18.9%まで落ち込んでいる。景気のみならず、選挙の年は景気後退と言われているが、景気の良いのは大手の一部であり、庶民の懐が寒いと景気は良くなるまいであろう。アメリカの住宅業界にも異変が起きているのも見逃せない。今後の動向をしっかりと見定めていく必要がある。

<注>株や為替、相場等に要注意。ここ数カ月は特に変動が大きいと思われる。